

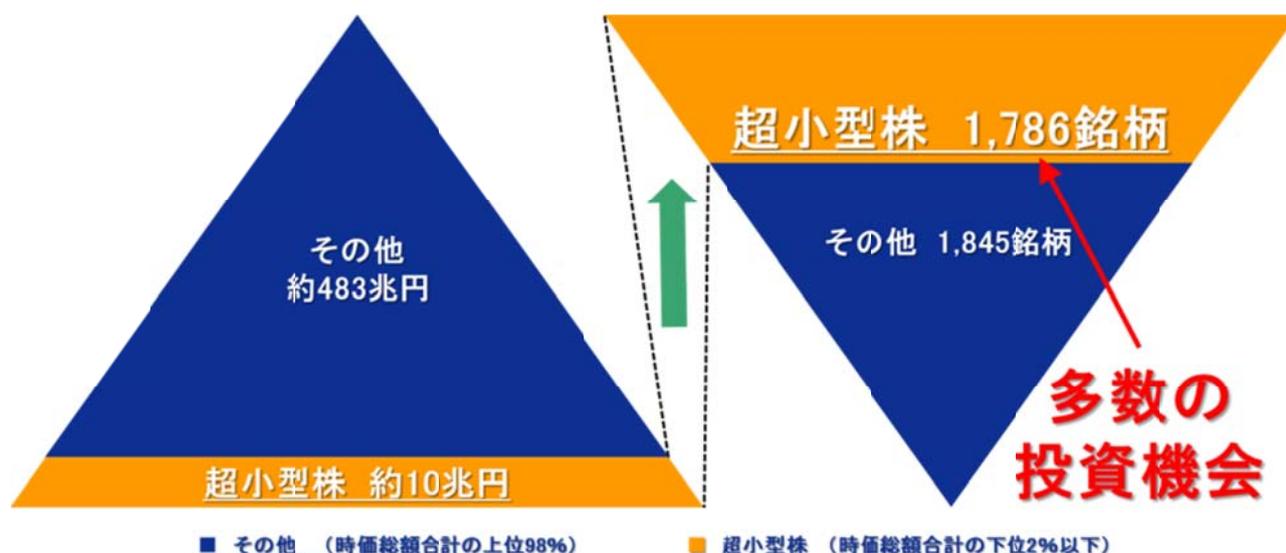


## 超小型株式の魅力

### 超小型株式の投資ユニバース

スパークスでは、全上場銘柄の時価総額合計の下位2%(約10兆円(2016年6月末日現在))以下の銘柄を超小型株式と定義しています。時価総額ベースでは約134億円以下(2016年6月末日現在)と非常に小さな規模ですが、銘柄数ベースでは全上場企業の銘柄数約3,600銘柄のおよそ半数が超小型株式です。圧倒的な銘柄数のため、見過ごされ、誰にも注目されず、割安に放置されている、魅力的な銘柄が多数存在するという事です。

### 日本株式市場の規模別時価総額と銘柄数



出所:スパークス・アセット・マネジメント(2016年6月末日現在)

### 超小型株式への投資の魅力

超小型株への投資は、高いリターンを目指す投資家にとって極めて合理的であると考えています。下図は、企業規模別のリスクリターン特性をイメージにしたものです。一般的に、最も高いリターン特性を有しているのは未上場株です。未上場株は株式市場への上場等により、高いリターンが期待できます。しかしながら、未上場株は流動性に乏しいため、現金化したい場合にも換金できないことや、未上場株が

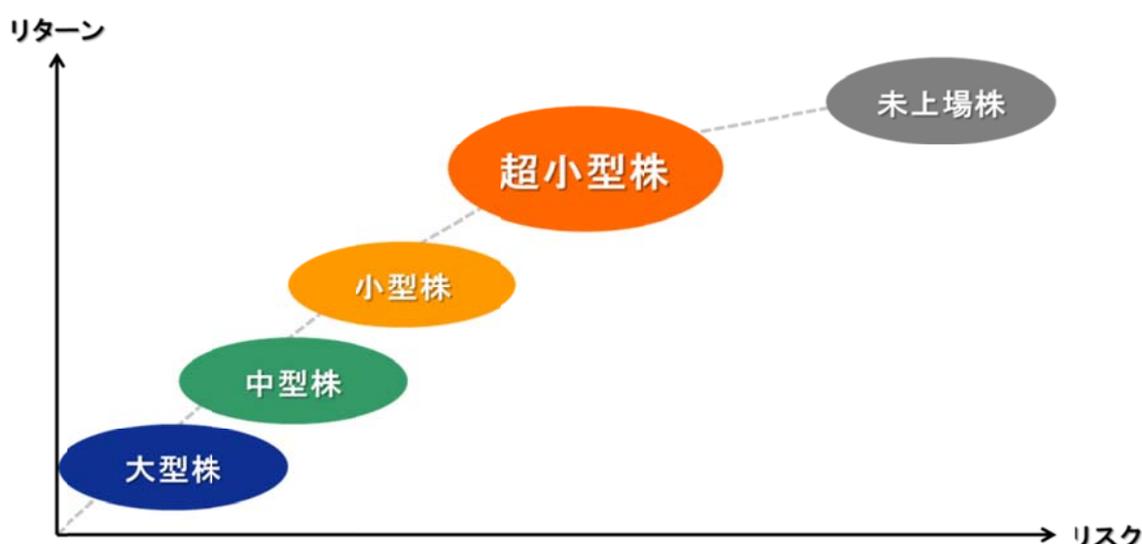
本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 情報発信レポート

株式市場へ上場するには高いハードルがある等、未上場株投資には高いリスクが伴います。また、そもそも個人投資家は、ベンチャーファンドや未上場株に投資する機会になかなか恵まれません。一方、超小型株は一般的に、未上場株ほどではありませんが、上場株の中では相対的に高いリターンが期待できます。また、未上場株とは異なり、株式市場に上場していることから、市場で売買をすることができ、換金性があります。近年では、ベンチャー投資の過熱感の高まりにより、未上場株は割高になる傾向がありますが、超小型株は、市場であまり注目されていないことから、依然として割安な銘柄が数多く存在します。こうした点から、超小型株への投資は、高いリターンを目指す投資家にとって魅力的な投資対象であるといえます。

### 企業規模別のリスクリターン特性(イメージ)



※上記はあくまでイメージ図であり、将来の成果をお約束するものではありません。

出所: スパークス・アセット・マネジメント

### 超小型株の優位性

- ① 大きなリターンが期待できる  
超小型株は、大きな成長が期待される銘柄が多数存在する。
- ② 株式市場での売買ができる  
超小型株は、市場で売買することができるため未上場株と比べて換金性が高い。
- ③ 割安である  
超小型株は見過ごされた銘柄が多く、割安に放置された銘柄が多数存在する。

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



## 大きく成長した超小型株式の代表例

超小型株式には比較的短期間で大きく成長する企業が存在いたします。

下図はインターネットに特化して求人情報を提供するA社の株価推移です。

2004年の上場以降、A社の株価は比較的低迷していましたが、2013年のアベノミクスによる求人の大幅な増加が追い風となり、求人業界は大きな恩恵を受けました。

更にA社に追い風となったのは、紙媒体が主流であったアルバイト求人が、同時期にスマートフォンでの応募にシフトしてきた点です。

会社設立以来インターネットに特化して求人情報の提供を行ってきたA社は、「スマホに強いメディア」として認知されており、同業他社以上に業績を拡大いたしました。

A社の5年前の時価総額は50億円以下の超小型株式でしたが、2013年以降の急激な成長により、現在の時価総額は当時の約62倍と、非常に大きな成長を遂げております。

### A社の株価推移



※2010年7月末を1として指数化しています。

※上記は特定の有価証券等を推奨しているものではありません。また、当該実績は過去のものであり、将来の動きを示唆・保証するものではありません。

出所: FactSet (2010年7月末～2016年7月末)

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。